

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぼっぼハウス①		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 5日 ～ 2024年 11月 25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15 (回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日 ～ 2024年 10月 21日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学齢にあった支援を行っていること 当法人では小学年から高校生まで長期間支援を行っています。同じ法人内ですが、学年が上がることで別の事業所に移動し、3つの事業所を利用できます。	同じ活動でも、活動の難易度や内容をその学齢に合ったものを行っています。 学年が上がり事業所を移動することで、支援場所と支援職員が変わりますのでたくさんの経験をすることができます。また個別支援計画や支援方法などをしっかり事業所間で引継ぎ、本人が戸惑うことがないよう統一した支援の工夫をしています。	各事業所ごとにさらに明確な特色をもてるように取り組んでいます。学年で分かれています、事業所内交流会など他学年との関わる機会も増やしていきたいです。
2	職員の配置人数も多く、専門職を配置し行き届いた支援をしています。活動は、「自由あそび」「設定あそび」のメリハリがついています。また、研修部提案の専門職員による研修会などを定期的に行っています。	専門的支援の実施（サーキットや感覚統合療法やビジョントレーニング）を行っています。支援については、スタッフ会議やケース会議等で検討し職員間で情報共有をしっかりと行い統一した支援を行っています。また研修会で学んだことを活動の中に取り入れています。	事業所内研修を充実し、楽しく意義のある活動の提供をしていきます。
3	建物は、放課後等デイサービスを行うために建てられているので、バリアフリーで活動しやすいです。清潔で心地よく過ごせる環境です。	気持ちの切り替えや休憩ができるスペースもあり、安心して見守ることができます。	死角をつくらないように見守る工夫をしています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流があまりありません。	茶話会など定期的に行っていますが、就労している保護者が多く学校行事等が優先されるためか、参加者が少ないです。開催時間や内容など工夫はしていますが改善できていません。	保護者同士の交流会の設定を考えていきます。また、家族等の参加できる研修や行事の機会や情報提供を行っていきます。
2	児童館との交流や地域の他の子どもたちと活動する機会がありません。	児童館へ遊びに行っていたことはありますが、交流は難しいと感じました。利用児が小学校低学年なので、学校と事業所に慣れることを優先と考えています。	事業所の前に公園がありますので、地域の子どもたちと自然に交流できるようにしています。また、他の放課後等デイサービス事業所と交流する機会を設けていきます。
3			